

会 議 記 録					
会 議 の 名 称	決算特別委員会 総務文教分科会				会議場所 第3委員会室
					担当職員 山内
日 時	平成29年8月24日(木)				開 議 午後1時30分
					閉 議 午後2時30分
出席委員	◎竹田 ○奥野 田中 山本 小松 福井 (三上委員欠席)				
執行機関出席者					
事務局	山内事務局次長				
傍聴	<input checked="" type="checkbox"/> 可・ <input type="checkbox"/> 否	市民 0名	報道関係者 0名	議員 0名 ()	

会 議 の 概 要

13:30

1 開議

(事務局日程説明)

<事務局次長>

本日は、前回の配付資料を踏まえ、事務事業評価対象事業の選定をよろしく願います。

2 事務事業評価対象事業の選定

<竹田委員長>

前回、各委員に事務事業評価対象事業の抽出をお願いした。

今回は、その対象事業を報告いただき、選定のうえ事業項目の決定を行う。

それでは、各委員から抽出した事業とその理由、論点とされたい点などを報告願う。

<山本委員>

「平成28年度一般会計当初予算(案)施策の概要」総務部のP3、「セーフコミュニティ推進事業経費」で、金額的にはそんなに大きくはないが、平成29年度の予算で828万円あり、また、平成30年度にセーフコミュニティ(SC)再々認証、インターナショナルセーフスクール(ISS)再認証を控え、さらに予算が増加するものと思われる。

決してSC再々認証、ISS再認証を否定するものではないが、特にISSで、この事業によって、どれだけセーフコミュニティの理念が浸透しているのか、広げておられるのか確認するとともに、事業効果も伺いたい。

<田中委員>

生涯学習部のP2、まちづくり推進経費の中の「亀岡市支えあいまちづくり協働支援金」について、金額的には大きくないが、中身を見直していく必要があると考えている。

本日欠席の三上委員から、対象事業として3項目挙げてほしいということで、事務局に連絡が入っていると思うので、事務局から報告をお願いします。

<事務局次長>

三上委員から電話で、事務事業評価対象事業の選定にあたって、3つの事業項目をお

聞きしているので、報告させていただく。

まず1点目は、「生涯学習推進経費」で、各生涯学習事業の実施が市民にとって有効な支出となっているのかを問いたいということであった。

2点目は、「教育研究所事業経費」で、京都府にも同様の施設がある中で、本当に必要な経費であるのかを論点としたいということであった。

3点目は、「放課後児童対策経費」で、地域間で格差がある中で、場所・指導者の確保などについて問いたいということであった。

以上、3つの事業項目についてお聞きしているもので、よろしく願います。

<福井委員>

教育部のP1、「就学奨励経費」については、年々減らされており、教育の機会均等という観点から、この減少は非常に大きいことであると考えます。

減少の内容と、執行状況を確認していきたい。

市として減らしてよいものだとは思わない。

生涯学習部のP5、「生涯学習推進経費」で、平成28年度でガレリアかめおかの土地購入費の支払いが完了し、その分、平成29年度予算では減額となっているが、施設の老朽化の状況を踏まえ、今後、どのように施設の維持管理を行っていくのか聞いていきたい。

<小松委員>

セーフコミュニティの関係については、私もいろいろと確認したいことがある。

総務部のP2、「地域イントラネット管理経費」について、費用対効果やセキュリティ面も含めて、必要性を確認したい。

「就学奨励経費」について、周知ができていないか、執行状況も含めて確認したい。

教育部のP3、P8、小・中学校費の「学校運営経費」に係る消耗品・備品等について、先生方が困ることがないように、必要な予算が措置されているのか、確認していきたい。

<奥野副委員長>

小・中学校費の「学校運営経費」の学校管理用消耗、及び備品経費について、現場の先生からは、年度途中で紙等が足りなくなるという声もよく聞くが、当該経費については、充実すべきと考える。

<田中委員>

生涯学習部のP3、「文化センター運営経費」で、今年の1月から休職していた人が、定年退職を待たずに、平成28年度末で退職されるなど、職員が困っている状況がある。

それが何なのか、どういうふうに文化センターを運営されているのかを聞いていきたい。全体の人事管理面からも聞いていきたい。

(休憩)

13:57～14:10

(再開)

<竹田委員長>

委員会を再開する。

事務局より、各委員から抽出された事業項目を報告願う。

<事務局次長>

各委員から抽出された事業項目は、

・セーフコミュニティ推進事業経費	2人
・就学奨励経費	2人
・学校運営経費（小学校費・中学校費）	2人
・生涯学習推進経費	2人
・亀岡市支えあいまちづくり協働支援金 （まちづくり推進経費）	1人
・文化センター運営経費	1人
・教育研究所事業経費	1人
・放課後児童対策経費	1人
・地域イントラネット管理経費	1人

となっている。

<竹田委員長>

ただ今、事務局より報告があった中から、3項目程度選定していきたい。

「セーフコミュニティ推進事業経費」と「就学奨励経費」は、複数の委員から抽出していただいているので、決定したい。

— 全員了 —

<田中委員>

「文化センター運営経費」は、分科会審査の中で確認させてもらうので、取り下げさせていただきます。

<竹田委員長>

地域イントラネット管理経費は、去年の事務事業評価結果を受けて、平成29年度予算では、他の費目に予算が移って、当該経費としては予算計上されていないので、削除させていただくことでよいか。

— 全員了 —

<田中委員>

「亀岡市支えあいまちづくり協働支援金」については、「まちづくり推進経費」の中の一部の経費であるので、分科会審査の中で確認させていただくこととして、取り下げさせていただきます。

<福井委員>

「放課後児童対策経費」については、これまでに何度か事務事業評価を行ってきたのではないかと。

<事務局次長>

「放課後児童対策経費」は、去年も事務事業評価対象事業に選定いただいております、その時は「拡充」という評価をされている。

今回、昨年と違った論点で評価されるのであればよいが、同じ論点であれば除外された方がよいと考える。

<竹田委員長>

今回、除外させていただくことでよいか。

— 全員了 —

<竹田委員長>

「生涯学習推進経費」についても、去年に事務事業評価を行っているが、どうか。

<事務局次長>

「生涯学習推進経費」について、三上委員の言われている内容は、去年の評価の中に一部含まれているように思う。

福井委員の言われた、ギャラリーかめおかの管理運営については、去年は評価していな

いので、その部分については、対象事業として選定いただくことも可能と考える。

<竹田委員長>

教育研究所についてはどうか。

<田中委員>

三上委員からは、教育研究所の嘱託職員が、校長OBの再就職先となっていないか、また、研修内容が京都府の総教センターで実施されている研修と重複するのではないか、ということを論点として聞いている。

<福井委員>

今、田中委員から言っていた内容であれば、「教育研究所事業経費」を取り上げるのもよいのではないかと思う。

「学校運営経費」は、きっちりと予算措置がされていない状況もあるので、選定すればよいと考える。

その代わりに、「生涯学習推進経費」を取り下げたいと思う。

<竹田委員長>

それでは、事務事業評価対象事業として、

- ・セーフコミュニティ推進事業経費
- ・就学奨励経費
- ・教育研究所事業経費
- ・学校運営経費（小学校費・中学校費）

以上、4事業を選定させていただくことでよいか。

— 全員了 —

<竹田委員長>

次に、現地調査の有無について確認させていただく。

（現地調査の希望なし）

それでは今回、現地調査はなしとする。

3 その他

<竹田委員長>

次回の日程については、9月19日（火）午前10時からの、9月定例会常任委員会の議案審査後として、事務事業評価調書に基づく事前の論点整理を行いたいと考えているので、よろしく願います。

散会 ～14:30